

かゑらじと かねて思へハ 梓弓  
なき数に入る 名をぞとどむる  
四條畷に散った若き武将、楠正行

楠正行通信 第102号

令和1年12月12日

発行＝四條畷楠正行の会

〒575-0021 四條畷市南野5丁目2番16号

四條畷市立教育文化センター内 072-878-0020

四條畷市制施行50周年協力・四條畷楠正行の会発足5周年記念事業

## 楠正行に関する研究論文大募集！

＝ 最優秀賞に10万円と記念品進呈 ＝

### 四條畷の合戦で討ち死にした楠正行の眠る街

四條畷市は、古代、市域の西側に海や湖が広がり、現在の外環状線あたりが渚の線＝水際だったといわれています。そして、飯盛山とこれらの海や湖との間に挟まれた、わずかに東西2キロメートルほどの地に、南北交通のかなめの通り、東高野街道が走り、家が張り付き、賑わいを見せてきたのです。

ですから、四條畷には古代からの史跡が数多く残っています。2万年前の旧石器時代のサヌカイト製チョッピングツール（つぶて器）や縄文時代のヒスイ石斧（新潟県姫川産）に始まり、弥生時代の稲作、古墳時代の馬飼いの人々による祭祀跡や人物・馬などの埴輪が数多く出土しています。

そして、中世に入り、三好長慶が飯盛城に入るとキリシタン文化の華が咲き、支城であった田原城主、田原対馬の神の墓から中国渡来の青磁袴腰香炉が発見され、また菩提寺千光寺跡土塀の下から日本最古となる田原レイマンキリシタン墓碑も出土しました。

このように多くの文化財を有する四條畷ですが、かつて四條畷の名前を全国に知らしめることとなったのは、南北朝時代の正平3年1348年1月5日、四條畷の合戦が行われた地であるということです。

父、正成の櫻井の遺訓を護り、吉野朝復権ただ一筋に生き抜いた楠正行が、京から押し寄せる足利尊氏の執事、高師直の4万騎に対し、わずかに千騎の寡兵で戦い、師直本陣半町まで攻めあがるも、矢つき刀折れ、23歳の若さで討ち死にし、四條畷神社にまつられ、小楠公墓所に今も眠っているのです。

### 毎月例会で、正行検証、そして結果公開

四條畷楠正行の会は、郷土の誇りといえる武将、楠正行について学び、検証し、そして次代を担う子どもたちを通

じて後世に長く広く語り継ぐことを目的に、楠正行に関する残された史料を検証し、伝承を繙き、さらにはゆかりの史跡を訪ね、その人物像や生き様を掘り起こし、明らかにする活動を続けています。

平成26年11月、発足以来、毎月の例会では楠正行とともに生きた人物や楠正行から影響を受けたであろう人物を一人ずつ取り上げ、その人数は45人を数えます。

また、平成29年4月からは、大阪電気通信大学と産学連携し、楠正行という武将を後世に伝えるプロジェクト実習授業を続けており、初年度には6分冊1巻本の絵本「楠正行」を制作し、市内図書館に寄贈、2年度には45枚の絵札・字札・しおり・地図・箱からなる楠正行かるたを制作し、市内書店や楠氏ゆかりの寺社（湊川神社、観心寺、如意輪寺、建水分神社等）で販売しています。今年は、A1版の大型ポスター「楠正行」30枚を制作し、四條畷神社・湊川神社でポスターセッションを開催しました。

また、平成25年から四條畷市が続けてきました「楠正行シンポジウム」を、平成31年の第7回から引き継ぎ、私たちの会が主催・開催しています。

私たちの活動の様子やこの楠正行通信のバックナンバーは、四條畷市立教育文化センターのホームページでご覧いただけます。（<http://nawate-kyobun.jp/>）

### テーマは自由、論文形式にこだわらず

この度、四條畷市制施行50周年、四條畷楠正行の会発足5周年を機に、楠正行研究をさらに広い視野から進め、埋もれている伝承の発掘や新たな視点からの楠正行論に接することで、さらに活動の輪を広げようと「楠正行に関する研究論文」を大募集することとしました。

実施要項は裏面掲載の通りです。テーマは自由で、論文形式にもこだわりません。地域での伝承や、知られていない史跡等のご紹介、あるいは個人の思い、考えでも結構です。多数のご応募、お待ちしております。

四條畷市制施行 50 周年協賛・四條畷楠正行の会発足 5 周年事業

# 楠正行に関する研究論文 大募集！



楠正行に関する問題提起・私論・伝承・史跡等に  
関すること、どのような内容でも結構です。  
ご応募、お待ちしております。

## 募集内容

### 論文テーマ

自由課題／史学・歴史・美術・文学・民俗・芸能等  
例「楠正行に学ぶ楠公精神とは何か」  
400 字詰め原稿用紙 30 枚以内

### 応募資格

18 歳以上の個人(令和 2 年 4 月 1 日現在)  
学生さん大歓迎  
応募締め切り  
令和 2 年 5 月 31 日(日)必着  
提出された論文は返却しません。

### 募集&表彰

□最優秀賞 1 作品／金 10 万円と記念品  
□優良賞 1 作品／金 3 万円と記念品

### 表彰の要件

- ① 令和 3 年 3 月開催予定の第 9 回楠正行シンポジウムに出席可能なこと。
- ② 未発表の論文(作品)であること。
- ③ 提出された論文は公開する。

## 応募方法

応募申請書に必要事項記載の上、論文とともに郵送してください。郵送以外は不可です。  
応募申請書の請求、論文の送り先は以下の通り。  
〒575-0021 大阪府四條畷市南野 5-2-16  
四條畷市立教育文化センター  
電話 072-878-0020

### 選考方法&選考結果通知

東四條畷市長、安本産経新聞大阪本社編集委員、扇谷の 3 人で構成する審査会で選考します。  
選考結果は、令和 2 年 6 月初旬ごろに、本人宛で文書で通知します。選考経過に関するご照会には回答できません。

### 応募期限

**5 月 31 日(日)必着**

●公募・お問い合わせは  
四條畷楠正行の会・扇谷まで  
メールアドレス [a-oogitani@syd.odn.ne.jp](mailto:a-oogitani@syd.odn.ne.jp)  
電話 090-3034-8288

主催／四條畷楠正行の会  
後援／四條畷市・四條畷市教育委員会・四條畷神社・産経新聞社・奈良新聞社・四條畷市立教育文化センター

(文責『四條畷楠正行の会』代表 扇谷昭)